

(議長)

いいですか。いいですか。

はい。それでは、改めて会議を再開いたします。

次に、まちづくり推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

(議長)

誰だ。

まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」(補足説明)

それでは、まちづくり推進課所管の予算につきまして、予算資料によって説明させていただきます。

8ページをお開き下さい。まちづくりは広報と企画事務、あと、統計、この3つの事務事業になってございます。

まず、8ページの中程です。17番、18番です。広報編集、令和5年度は4,150部を作成し12か月配布、その経費でございます。あと、情報周知発信強化については、ラインの発信でございます。今現在、2,653名の登録になってございます。

主要なところだけにさせていただきます。35番、9ページをお開き下さい。すいません。8ページの33番です。北の江の島構想推進でございます。2,057万6千円計上させていただいています。これらは、まず、1,898万6千円につきましては、北の江の島拠点施設整備基本設計の業務委託費、これは、まだ、施設の大きさ決まっております。そういう意味では、公共の単価で2千㎡を想定したものの予算ということで、ご理解いただきたいと思っております。その他に、地域力創造アドバイザーの経費を想定しております。

続いてですね、35番9ページ、35番をお開き下さい。ふるさと応援寄付金に対策でございます。予算額は、3億804万2千円でございます。令和5年度の目標額、寄付金の目標額は、2億円としてございます。2億からマイナスする部分に関しましては、寄付者への返礼品の経費ということで、ご理解いただきたいと思っております。

37番です。開陽丸青少年センター補助金です。例年のものに併せまして、今年は、開陽丸記念館の展示を近い将来に考えてございます。そのリニューアルに向けた検討委員会の経費として、243万円を上乗せさせていただきました。

42番です。江差町地域公共交通活性化協議会の負担金でございます。令和5年度に策定となる公共交通計画、これのランニングに関して、企業に伴走していただくということで考えてございます。281万6千円。なお、この件に関しましては、近々3月中に議会の皆様に、また、説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく

お願いいたします。

44番です。旧江光ビル跡地活用拠点施設整備で、3億7,313万1千円予算計上させていただきました。建設を含めた施設整備費全般でございます。まちづくり推進課の主たる事業についての説明、補足説明については、以上で終わります。

以上です。

(議長)

以上で、補足説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑希望、ありませんか。

(議長)

はい。室井議員。

「室井議員」

2点。

まずですね、33番江の島構想、一般質問でもいろんな議論ありました。これ、この間、何年かですね、いろんなやり取りしてきました。いろんな課題とか、いろんな新しい問題もどんどん増えてくる。でもね、いいですか。今、今日ね、心配して質問されたような内容はね、クリアできるんでしょ。技術的に。やり方ありますよ。アドバイスしますよ。もし、来るのであれば。一番、心配なのは、あなた方、そういうのに対して自信がなくて、うやむやする。任せて下さい。下さいっていうぐらいのね、元気持って言いなさい、尾山課長さん。ね、できるから。専門家に聞いてみなさい。できない訳、ないんです。できます。しかも、それはね、やるとによって逆に平時は何かのね、あれに使うに、そういうこと考えるんですよ。それだけ、交渉次第。何かの時は、こっちのこういうふうに使えるなというようなことも考えてやったことが1つ。

それと2点目。これも簡潔に。江光ビル跡地ね、これ、結構高くなってるんだ。資料でも見せてもらった。んーちょっとなというところあるから、これは設計屋さんコンサル入っているんでしょ。それと役場の建設課とよく相談してね、やっぱり、あのベランダになる部分ね、構造体表し、柱、梁見える。これは、料金化する一方だよ。それをカバーするには、金が多く掛かる。もう少し検討してね、いいですか。検討してもらって下さい。どういうコンサルか知らないけども、必要であれば、私が対応してもいいですよ。こういうふうにしてどうですか。議会として対応してもいいですよ。何でもかんでもね、コンサル上げてきたもの、うんうんって言うな。ちゃんとそこで、一壇おいて、一段落おいて、ちゃんと相談してみる。そういう考えあってもいいと思う。高いんですから。とっても高いんだよ。(議長：わがった、わがった)坪、畳2枚で270万だよ。かってないよ。こういう高い単価。坪当り単価。もう、尾山さんの家であればですね、何億って金になる。270万かける今の坪数でいけば。それは、遠慮しないで設計屋さん言って、こっちからも言う。(議長：意見だべ)もう少し

さげられていていうことを、頑張ってもらえますか。その2点。

(議長)

いいですか。まちづくり課長。

「まちづくり推進課長」

ありがとうございます。元気がないということで、先程も、言われてましたけども、しっかり、これから1年間、整理対応していきたいと思います。

専門家のご意見を聞きなさいというお話ありました。間違いなく、私たちがこの例えば、江光ビル跡地を検討するに当たっても、事務方ではなくて、専門家と話す中で、非常に、こう、明らかになってくる部分があります。今日、前回もそうですけども、飯田議員からも、あるいは、小野寺議員からも、いただきました心配の部分、そういった部分はしっかり、その専門家に相談しながらクリアしていく。あるいは、それを上手く使っていくような形をとっていききたいと思います。

実は、道庁に補助金の相談にいった際も、当然最後の最後まで、国はその津波対策に関しては、どう対応するのかというところは、確認されるということは言われています。そういう意味では、私たちもこの江の島を進める上で、これは、絶対の条件だと思っていますので、そういった専門家のご意見聞きながら進めていきたいと思えますので、まず、そこは、ご理解いただきたいと思えます。

2つ目、跡地の経費、非常に高いということは、以前から議員からご指摘いただいていたし、我々もいろんな施設と比べると、確かに高いというふうに考えてございます。ただ、ぜひご理解いただきたいのは、これは、マックスの一番高い最高額だというふうに理解して下さい。要は国の補助金をもらうに当たっては、1億の事業費だということのあとに、1億5千万になった時に、財源手当ては1億分しかいただけません。そういう意味では、今回、本当に窓も最高で、そういう設備をしっかり、こう、かなりグレード高くしたもので考えてございます。そういう部分に関しましては、前回の全員協議会で議員からも窓に関しては、考えるべきではないかというお話をいただいていますので、そういったところはしっかり整理しながら、最終的に実施設計上がった時点では、皆さんにご納得いただけるような数字になるように、インシヤルコストの低減、そこをしっかりと対応していきたいと思えますので、ご理解いただきたいと思えます。

以上です。

(議長)

はい。いいですね。

定刻と・・・・・・・・。

「室井議員」

議長、ちょっと待って。

あの、課長ね。(議長：質問ですか) はい。質問ですよ。(議長：はい。室井議員) 私も、行政やってましたよ。何年か。補助申請してね、あとですよ、決定して、あとで、金額増えました。補助金また下さいなんて、こんなこと出来っこないっしょ。そんなことぐらい、私、わかってんだよ。けど、いかにして、持ち出しをね、少なくしていくのかということを検討するね、そういう知恵を持ちなさいということをお願いなんです。いいですか、それだけで。そういうふうにやりますね。検討しますね、はい。じゃ、しっかりした答えしてください。

はい。

(議長)

何だって。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

当然、その今、実施設計やっている業者とあるいは、うちの建設水道課の建築技師含めて、しっかりその辺は、対応していきたいと思えますんで、ご理解いただきたいと思えます。

(議長)

やあ、田畑、手あげで。どうする、さぎに、田畑、あでんのが。(小野寺議員：はいはいはい。議長) (事務局長：先にこれお願いします) なんだべ。(事務局長：ちょっと待って下さい) ちょっと待って下さい。(室井議員：議長、まだ終わってないよ)

(議長)

定刻の時間が迫っておりますが、まちづくり推進課所管予算の審議に終了するまで、議会時間を延長したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

(議長)

異議なしと求め、まちづくり推進課所管予算並びに審議が終了するまで、時間、会議時間を延長することに決定いたしました。

はい。他に、(事務局長：小野寺さん) 小野寺議員。

「小野寺議員」

2点、お聞きします。

1点目が開陽丸記念館。先程、課長から説明ありました。町長の施行方針にもあり

ました。その点について、最後にこの文章、町長の執行方針の中にですね、展示の在り方につきまして検討していきたいと。今年、新年度、どこまで考えているのか。ちょっとついでに言うと、内部の問題、それから、外側と言いますか、調べたら結構金掛かりますよという話もありました。それから、そもそも北の江の島構想のあの中の重要な展示物と言いますが、施設なので、3つをバラバラということには当然、ならないと思うんでうよね。改めて、その展示物の再検討と言いますか、在り方と言いますか、どんなスケジュール考えているのかというのと、もっと、もっとですよ、中身、もう魂本的にガラッと変えるぐらいの気持ちでやらないと、私は駄目でないのかなと思ってんですよね。だから、今、どこまで、どこまで考えているのか。さっき言ったその外、外側を直さなきゃなんない、お金が掛かります。北の江の島構想全体の中で、あんまりスピード遅れる訳にもいかないんじゃないのかなとか。そこら辺の兼ね合いも含めてどのようにお考えしているのか、お聞きしたい。それが、1点。

あともう1つ、最後。ホームページの問題です。何回か言っておりますが、私今回、一般質問とか、予算質疑の準備で、町からもらった資料は別にするとですね、多分、9割9分、ホームページで調べてます。だから本当にもう、最近はあらゆる資料が行政資料、今、国会でもいろいろ問題になってますが、際どいところも含めてギリギリの行政資料は本当にちゃんと載っている。江差、よくよく見ればですね、統計的なものだったら、ね、ご存じだと思うんだけど、本当に古いまんま。それからいろんな大事なものも、なかなか載っていない。たまたま江差の議会は、良くやってますね。江差町の議会は、事務局は、我々がもらったやつは、多少遅れはありますが、全部、PDFで入っているんですよ。だから、役場のどっかにあるかなと思って探すよりも、議会関係は、議会の江差町の議会のホームページ見たらね、全部出てくるんですよ。素晴らしい。だけど、一般の方々がですね、議会事務局にいったら、江差の議会に出た資料があるならなんて、なかなかなかなか、行かないです、そこまで。やっぱりちゃんと、一般の江差町のホームページの中にですね、しかも新しいもの載せなきゃなんないと思うんですが、ちょっと、質問。この金額、ホームページに係る金額ってこれ何なんでしょうか。どの程度まで、委託しているんでしょうか。何か上っ面だけやって、中身は担当者がやっているんですか。ちょっと、教えて下さい。そこら辺。

以上です。

(議長)

はい。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

小野寺議員から、2点ご質問ございました。まずは、開陽丸の展示、展示って言うか、展示の関係です。2つありました。中の展示と、それから外のということで。外の在り方に関しては、一昨年、その劣化度調査以降、開陽丸とも意見交換し、内部でもしやるんだったら、こういうレベルかなということは、進めていますが、先程来、

言うように、財源対策の部分で今難義してて、それをどうするかというところをしっかりと詰めていきたいと思っておりますので、まず、それは、ご理解いただきたいと思っております。

展示に在り方に関してです。展示については、先程お話したように、20年、20年経ったものでして、今の時代に本当に合っているのかということなかなか厳しい部分があるんだろうなと思っております。そういう意味では、今回道の駅の整備、拠点施設の整備に併せて、展示に関してもやっていきたいなという方向で今は考えているんですけども例えば、展示をやります、それは多分実施ですね、その前に基本設計があって、基本計画があります。今回の基本構想というレベルでお考えいただきたいと思っております。あくまでも、例えば文化財の専門家、外ですね、文化財の専門家、観光の専門家、多言語の専門家、あと、地元の開陽丸財団の理事さん、そういう皆さんで数度、今、例えば、開陽丸展示するとしたら、中の展示を改修するとしたら、どうあるべきか。というところはしっかりと意見交換しながら、その基本計画の方につなげていく。そういうことを考えてますので、そこはご理解いただきたいと思っております。

2つ目。ホームページに関してです。まず、この金額に関しては、サーバーの利用料というふうに考えて下さい。中身に関しては、町の方が町の担当課、まず、まちづくり推進課がやる部分と、あと、各課でやる部分あります。以前から何度もご指摘いただいて、私も大変申し訳ございません。この会議が終わりましたら、少し中身見ながら、各課へのと共有し、できるだけ早い時期に整理していきたいと思っております。ご理解いただきたいと思っております。

以上です。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

はい。直ぐ、終わります。

1点。開陽丸、中、中身の問題。中の展示。課長、ぜひ、先程言いましたいろいろそれぞれの立場の方々、それはわかりますが、もう1点。普段日常的には、あそこに行ってもらいたい方、子どもさんだとか、お母さんだとか、おじいちゃんでもいいでしょう。そういう人達の声、ぜひ、反映できような場、やっぱりね、その人たちが行って、楽しかった、良かった、勉強になった、というような展示物にならないと、私はやっぱり駄目だと思うんですよね。だから、ぜひ、そういう声が反映できような仕掛けを作っていただきたいと思っておりますが、もし、ご答弁あればお願いいたします。

(議長)

まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

ご意見は、しっかり受け止めながら、検討の段階でそのご意見を皆さんで共有しながら、どう進めていくか考えていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

(議長)

いいですね。  
他に、質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

(事務局長：飯田議員) はい。飯田議員。

「飯田議員」

はい。それでは、手短かに1点だけ。

北の江の島構想の構想推進、2千万弱の予算を組んでおりますが、これはですね、委託先はこれまでの総務省アドバイザーの大山さんでよろしいのか。今までと同様に。私の認識で前に一度、ここで、江差で意見交換といいますか、交換やりまして、ぜひ、冬の江差を見ていただきたいということで、その後、確か、来てもらえるような返事はあったんですが、新年度において、また、こちらに来て意見交換はされるのか。もし、この方に委託するとしたら委託の内容、設計も入るのか。例えば、道の駅に入るテナントの誘致も含めての委託なのか。その辺、お答えください。

(議長)

はい。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

北の江の島構想の基本設計の今、お話をまず、中心にいただいたと思います。北の江の島、今回の基本設計に関しては、総務省の地域力創造アドバイザーではなくて、コンサル担当の方にこれまでの議論をしっかりと、基本、実施設計につなげるような、そういった形の基本設計を作っていただくということが、まず、大前提で今考えてございますので、ご理解いただきたいと思います。

大山アドバイザーに関しましては、冬も来てくれてます。あれは、3月の20日にも来ることになってます。皆さんからいただいた意見を具現化したというか、盛り込んだのは、去年の構想の中で盛りこめさせていただきました。例えば、先般、お話したように、中に入る店舗だとか、そういうところの考え方だとか、在り方だとかというところを今、やっていただけてますので、その点ご理解いただきたいと思います。とのことで、来年も携わっていただくことになってます。

はい。以上です。

(議長)

いいですね。

他に質疑希望ありませんか。

(「なしの声」)

(議長)

質疑希望ありませんので、まちづくり推進課所管予算並びに関連議案について、質疑を終わります。

(議長)

以上で、本日の日程は、全て終了いたしました。

これで散会いたします。

皆さん、大変ご苦労さんでした。

散開 17 : 00